

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)	良くなる	観光型ホテル（マーケティング担当）	・ 現段階の予約状況から推測できる今後2～3か月後の客室稼働率は、前年同月実績を上回る見込みである。
		コンビニ（経営者）	・ だんだん暑くなってくると品ぞろえが増え、来客数も増えることになり客単価が増加する。
		衣料品専門店（経営者）	・ 夏に向かって少しずつ良くなっていくとみている。
	変わらない	通信会社（店長）	・ 値上げによる買い控えは続くと思われるが、6～7月は新商品の発売時期となり持ち直すと期待している。
		スーパー（販売企画担当）	・ 地域での競合店出店予定もないので、客数は前年並みで見込める。また、単価アップは続くと思えるので売上も同じように見込める。
		コンビニ（エリア担当）	・ 国内外の観光客増はあるが、今後も大きな変化はないと感じられる。客数や購買力は安定するが、求人難による店舗の疲弊が懸念される。
		コンビニ（エリア担当）	・ 海外、特に南アジアからの観光客は、今後とも当分の間、安定すると判断する。県経済は安定して推移すると判断する。
		衣料品専門店（経営者）	・ 今月は、ここ数か月よりは全体的に良い感じがしており、街には観光客だけではなく地元の人も結構出てきているように感じられるが、景気としてはまだまだ様子見かとみられる。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・ 特に変化する要因が見当たらない。
		旅行代理店（マネージャー）	・ 熊本地震の影響もあり、九州方面の旅行計画は中止する傾向にあるが、その他の地域に関する問い合わせはある。
	やや悪くなる	ゴルフ場（経営者）	・ つい最近の熊本地震の影響が懸念される。
		一般小売店〔菓子〕	・ 熊本地震のため、観光などに対して消費マインドの落ち込みが予想される。
		百貨店（店舗企画）	・ 円高傾向にあることから、外国人観光客の動向が気になる。また、熊本地震で自粛傾向に陥る可能性もあり、先行き不透明である。
		住宅販売会社（代表取締役）	・ 熊本地震によって、現地の組み立て工場からの建築資材の配達の遅れが始めている。また今後復旧作業が進むと沖縄県内での建築現場での人手不足のおそれがある。
	悪くなる	住宅販売会社（営業担当）	・ 熊本地震後の建築資材不足、県内人材不足による価格高騰が今後も続くと思測される。
商店街（代表者）		・ 日本全体から見ると、部分的ではあるが、景気が良くなっているようではある。商店街の小企業、零細企業に関しては、来街者の中に観光客もたくさんいても、購入単価が減っている。大型店では買物をしているようであるが、小規模な店ではなかなか売れなくて、大変危機感を抱いている。	
企業動向 関連 (沖縄)	良くなる	-	-
		食料品製造業（総務）	・ これから夏場に向けての季節要因として、清明祭、ゴールデンウィーク、バーベキューシーズン等々がある。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・ 公共工事は着工が開始される予定でやや増、民間工事は横ばいの見込みである。
		建設業（経営者）	・ 客からの引き合い件数が思わしくない。
		輸送業（代表者）	・ 与那国の陸上自衛隊工事も峠を過ぎて、観光客でにぎわう宮古や八重山の大型ホテル等の工事は、まだ時間を要する見込みだが、公共・民間工事とも基調は安定している。
		広告代理店（営業担当）	・ インバウンドが好調に推移するなかで、短期的な販促投資は期待できるが、中長期的な見通しは不明瞭である。一方、県内市場における高付加価値商材の売行きが少しずつ拡大傾向にあることから、健康食品、機能性商材メーカーの販促投資に期待する声が高まりつつあるように感じている。
		会計事務所（所長）	・ 人員不足によって、新規物件があっても受注できないので、業績には影響しない。
	やや悪くなる	輸送業（営業）	・ 物流業界のみならず、人材不足が深刻化している。各分野での取扱物量や新規業務があっても、それを受ける人材がいな。また、既存従業員を確保するための人件費増も想定される。
悪くなる	-	-	

雇用 関連 (沖縄)	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・求人依頼が既存ユーザーからは追加であるものの、新規依頼の数が伸びない。全体が少し停滞気味と感じる。
		人材派遣会社（総務担当）	・県内で好調な観光関連業種も相変わらず人手不足とのことで、求人問い合わせが多いが対応できないとお断りしている。
		求人情報誌制作会社（営業担当）	・求人数が減少する。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・しばらくは、現状が続くとみられる。
	学校〔大学〕（就職担当）	・大学新卒採用情報が3月に解禁となり、最初の動き出しが始まっているが、求人数を見る感じでは特段、景気の向上を実感させるほどの変化はないように見受けられる。	
やや悪くなる	求人情報誌制作会社（編集室）	・3～4月で新シーズンや大型連休の採用を行って、いったんは落ち着く。また、大型連休明けの5月中旬に6～7月のオンシーズンに備え、求人を出す企業が増えると思われる。	
悪くなる	-	-	